

広報 かわぐち

発行 新潟県川口町長 青柳 弘
編集 川口町役場総務課
(〒949-75 ☎0258(代)89-3111)

国民健康保険に加入の皆さんへ

保険証が九月から「ふじ色」に

みなさんのお手元にある保険証が九月一日から「ふじ色」に変わりました。

このため、病院・診療所等で受診する場合は「ふじ色」の保険証で診療を受けましょう。今までの「はだ色」の保険証は八月三十一日かぎりで使用できなくなりましので、役場町民課までお返し下さい。

◎学生(学)、出稼等(遊)の被保険者証の交付を受けている方は、引き続き交付を必要とする方は改めて申請して下さい。◎新しい保険証を受けとったら、新しい保険証を受けとったら、注意事項をよく読んで使

食中毒防止に 万全を

次のことに留意し食中毒予防に万全を期すよう努めてください。

- 食品の調理に対する注意事項
 - 一、食品の調理にあたっては、「清潔」「迅速」「加熱又は冷却」の食品衛生の三原則を守る。
 - 二、魚介類の調理にあたっては、腸炎ビブリオの食中毒を防ぐため十分に水洗いを行った後に調理すること。
 - 三、食品の調理器具類等(まな板、庖丁、フキン等)は十分に洗浄、殺菌したものを使用すること。
 - 四、冷蔵庫の温度管理を十分に行うこと。また、冷蔵庫を過信しないこと。
 - 五、施設の能力以上の調理は行わないこと。
- 調理食品に対する注意事項
 - 一、調理した食品はなるべく早く食べる。特に会席料理等の家庭への持ち帰りは、避けること。
 - 二、仕出し料理等を注文する場合は、食べる時間を明確にして注文すること。
 - 施設の衛生管理に対する注意事項
 - 一、食品取扱室(営業者にあつては調理室、製造室。一般家庭にあつては台所)は常に清潔に心掛けること。

町民テニス大会 ふるって参加してください お待ちしています!!

- 日時 10月1日(日曜日) 午前8時30分から
- 会場 川口町総合運動公園
- 申込み先 町教育委員会



囲碁将棋 お盆大会結果

総合優勝	関 勝人
総合準優勝	関 和雄
松組 二位	上村 功
松組 三位	星野 建一
竹組 二位	平沢 錦次
竹組 三位	佐藤 信夫
総合優勝	岡村 徹磨
総合準優勝	小宮山忠男
A組 二位	小山 和夫
A組 三位	小林 貞三
B組 二位	古田島淳治
B組 三位	横田 正久



成人式

成人を祝いワインで乾杯。
8月14日 サン・ローラ川口で

人口	6,457人	平成元年9月1日現在
男	3,152人	
女	3,305人	
世帯数	1,510戸	

おもな内容	活力ある農業の地域づくり.....	2~4	「荒屋遺跡」住居跡を発見!.....	10
	川口町のあしたを創造する審議会.....	5	「ふるさと宅配便」順調に.....	11
	二十歳...大人の一步.....	6~8	少年リーダーのつどい.....	12
	人事関係.....	9	スポーツコーナー.....	13

活力ある農業



▲岩平地区ほ場整備(畑) スプリンクラーも整備され、作業能率がアップ。

▼西倉地区農村公園 地区の憩い場として



完成した施設

- 桑巻地区ほ場整備 十六・五ha、道路(四、〇二三m)、水路(五、一四m)、取水(一式)、昭和五十六、六十年。
- 岩平地区畑地整備 九・〇ha、道路(一、三三〇m)、水路(三、五九三m)、かんがい施設(一式)、昭和六十二、平成元年。
- 上ノ原揚水機改修 送水管(一四三三m)、上屋及び電気設備、護岸等、昭和五十五、五十六年。
- 前島用水路改修 延長五五九m、昭和五十五年、五十六年。
- 新田排水路改修 延長四八八m、昭和六十年。
- 原新田排水路改修 延長五二七m、昭和五十九、六十年。
- 原田用水路改修 延長五一一m、昭和五十六、昭和六十年。
- 上ノ原農道新設改良舗装 延長六三八m、幅員三・五、四・五m、昭和六十一、平成元年。
- 桑巻農道改良舗装 延長一・五一五m、幅員五、六m、昭和五十六、六十二年。
- 上ノ原農用地造成 六・〇ha、道路(一、一七九m)、パイプライン(一、七六七m) 昭和五十四、五十五年。
- 集落道寺前線改良舗装 延長一一二m、幅員三・〇、四・〇m、昭和六十一、六十二年。
- 集落道裏道線改良舗装 延長一一九m、幅員三・〇、四・〇m、昭和六十一、六十二年。
- 西倉集落排水路整備 延長三四六m、昭和六十年。
- 原新田集落排水路整備 延長三五五m、昭和五十四、五十五年。
- 西倉農村公園造成 公園面積一、〇八〇㎡、昭和五十四、五十五年。
- 防火水槽新設 中新田一基、西倉一基、昭和六十年。
- 中新田集会所建設 木造二階建、一棟、昭和五十四年。



▲桑巻農道 立派な舗装道路に



▲集落道裏道線 生活道路も舗装に



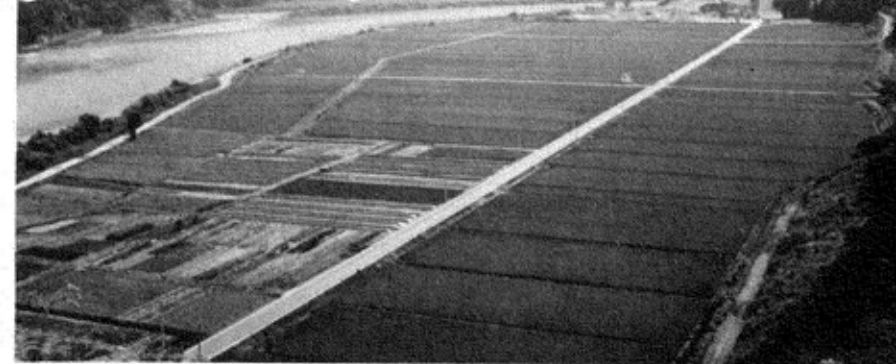
▲中新田地区集会所 地区のコミュニティ活動の拠点に

の地域づくり



▲原新田地区集落排水路 住環境も整備

▶桑巻地区ほ場整備(田)



2反区画に整備され、美田が完成。

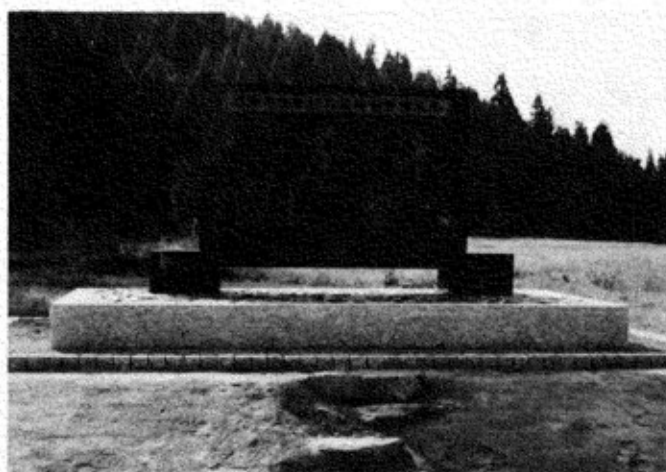
魚野川と信濃川が合流する河岸段丘に、整然と区画された田んぼ(写真左上)と畑(写真右上)が広がる……。ここ西倉地区で、十余年の歳月をかけて行われた農村基盤総合整備事業が、このほど完成しました。

生産基盤と生活環境整備進む

西倉地区農村基盤総合整備事業が完成

三区域(西倉・原新田・中新田)で実施
総工費
五億一千万円

活力ある農業の地域づくりを目指して、西倉地区農村基盤総合整備事業は、昭和五十三年に計画され、国・県補助事業を導入し、同五十四年西倉、原新田、中新田の三区域に着工されたもので、「ほ場」や「畑地」整備、「農用地」造成などの農業生産基盤(十一地区)と「農道」の新設改良や「集落道及び排水路」整備、「防火水槽」「集会所」建設などの生活環境基盤(九地区)による二つの整備が実施された。総工費は五億一千六百万円。これにより、同地区の生産



農業の生産性向上と農家経済安定のための「礎」となること願いをこめて、西倉原田地区に建立された立派な記念碑

基盤と生活環境づくりが進み、農業振興が一段と図られることになった。これに伴い同事業の完成を祝って八月十八日、記念碑の除幕式と竣工式が盛大に挙行された。

労苦を贅え 記念碑を建設

記念碑は、畑地整備が行われた西倉岩平地区に建立され、除幕式には青柳町長をはじめ小出農地事務所長、地元関係者など六十余名が参列。幕がとりさられると、青柳町長自筆の「千紫万紅」の彫刻文字が現われ、参列者から大きな拍手が起こり、十余年の歳月をかけて行われた工事の完成を祝うとともに、これまでの地元住民の労苦を贅えた。また、竣工式はサン・ローラ川口で、県関係者をはじめ地元農家の人々など町内外から百二十余名を招いて行われ、同事業の概要報告と事業に労苦された方々に感謝状が贈呈された。

以下、完成した主な施設は次のとおりです。
(年は実施から完成まで)

21世紀を展望したふるさとづくりに向けて

「川口町のあしたを創造する審議会」がスタート



町民の皆さんから行政全般にわたって意見を述べてもらい、来る二十一世紀を展望した独創と創造による町づくりを目的に「川口町のあしたを創造する審議会」が八月一日に発足しました。

会長に
小林 徹さん(川口)

副会長に
鈴木庄栄さん(相川)
桜井マサノさん(田麦山)

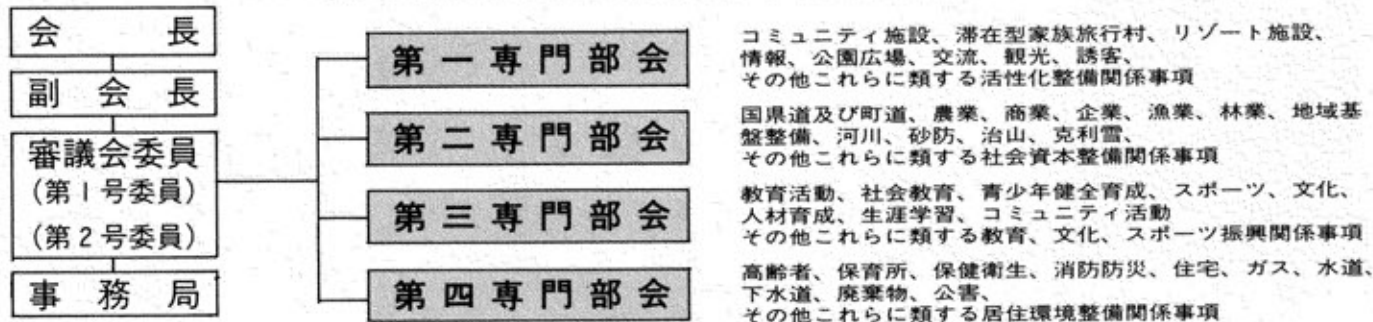
これに伴い、八月十日、二十五日に会合を開き、同審議会に委嘱された各委員の顔あわせと役割、専門部会におけるメンバー編成などを行うとともに、同審議会会長に小林徹さん、同副会長に鈴木庄栄さんと桜井マサノさんが就任。また、各専門部会の正副部長を決め、これにより町長の諮問に答える、これからの町づくりに向けての審議が本格

的に展開されることとなりました。

この日(八月十日)、青柳町長は挨拶の中で、同審議会を「ふるさと創生が話題になっており、一億円をどのようにかつうかという、たんなるふるさと会ではなく、もっと広範囲な二十一世紀を展望した行政の全てにわたって意見を述べる会にしたい」と位置づけ、加えて、自分たちの町が何を考へ何をしようとしているのか、そして審議会の役割について語った。

また、審議会の役割について、観光や誘客による活性化ばかりでなく、社会資本の整備や教育、文化、福祉などについて、皆さんから積極的に申し出て、自分ならこうする、こうしたいなど、どんどん指適していただき、そして各専門部会における調査、研究の成果について報告を願うとともに、「これからの町づくりは独創性と創造性のある町づくりを進めていかなければならない」と述べ、二十一世紀を展望した町づくりに向けて、同審議会に大きな期待を寄せた。

川口町のあしたを創造する審議会組織表



町民の皆さんの考えを町政に反映

町民の皆さんから行政全般にわたって意見を述べてもらい、来る二十一世紀を展望した独創と創造による町づくりを目的に「川口町のあしたを創造する審議会」が八月一日に発足しました。

この日(八月十日)、青柳町長は挨拶の中で、同審議会を「ふるさと創生が話題になっており、一億円をどのようにかつうかという、たんなるふるさと会ではなく、もっと広範囲な二十一世紀を展望した行政の全てにわたって意見を述べる会にしたい」と位置づけ、加えて、自分たちの町が何を考へ何をしようとしているのか、そして審議会の役割について語った。

この中で、町は、これまでに定住構想の条件整備(各分野の定住環境整備)に取り組み、これが着実に進展を見ており、大きな成果を上げています。特に高速交通時代に対応した町づくりに向け、全国最大規模を誇る川口インターチェンジと中山高原をドッキングさせ更に現在進めている三つのむらづくり(野外学習のむら・生涯学習のむら・原始古代むら)による滞在型家族旅行村を建設し、町の活性化を図っていることなどについて述べた。



関 富雄さん典子さん(夫婦)

今回の完成により、一番うれしいことは、畑にスプリンクラーが整備されたことです。道もなく、畑の形状がわるく、効率が悪かった。これからは機械が入り、労力もういて、経費もかからなくなります。そして仕事がしやすくなって、農業を長く続けられます。



川上清一さん信子さん(夫婦)

基盤整備によって、作業がしやすく、より機械化が進められ、作業効率・効率が上がり仕事の張り合いがもてます。特に畑の区画整理によって、スイカ作りなどの資材にムダがなくなりまし。

これからは、コストのかからないアスパラなど、ソフト野菜づくりに取り組んでいきたいと思っています。



関 二郎さん礼子さん(夫婦)

区画整備されたことによって、機械が畑に入り、作業効率が良くなりました。また、道路の舗装により、家から畑まで土を踏まないで行くことができるようになり、かつては考えられないことでした。

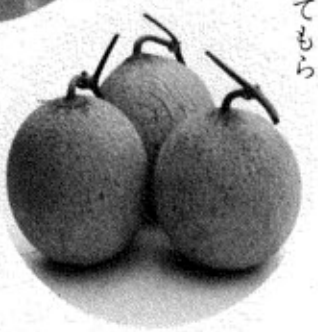
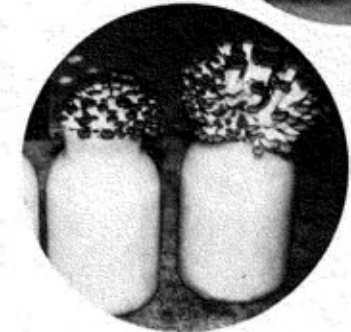
これからは土づくりに精をだしていきます。

プロフェッショナル農家の育成

町は、農業経営の体質強化を図るため、これまでに各種補助事業を導入し、農村環境と農村基盤の整備を掲げ、大きく取り組んできています。

一方、農業を一つの事業としてとらえ、儲かる農業、家族と幸せに暮らせる農家を目標に、複合営農によるプロフェッショナル農家の育成に取り組んでいます。

なお、現在上川地区と木沢地区でも農村基盤総合整備事業が行われ、着々と整備が進んでいます。



そこで今回完成した、西倉地区の農家(写真左)を訪れ、喜びなどについて語ってもらいました。

西倉地区では米づくりと畑作が行われ、スイカ・メロン・キャベツ・キノコ(しめじ)が出荷されています。特に西倉スイカは県外でも好評で、複合営農によるプロフェッショナル農家を目指して取り組んでいます。



山崎 義男(西倉)

お礼と町の営農団地を目指して

この度、西倉地区農村基盤総合整備事業の総合竣工を迎えることができました。

これも一重に町当局の暖かい御指導と御配慮、そして関係諸機関並びに各地区関係受益者各位の深い御理解と御協力のおかげから厚くお礼を申し上げます。

し上げる次第で御座います。かえり見て、同事業は昭和五十三年に計画され、事業種目は二十を数え、関連事業二種目により、西倉地区を中心に、基盤整備を軸とし、環境整備も併せ、十一年間にわたって整備されてきました。

この完成により、十年前の西倉地区とは大きな変革をもたらした立派な整備がなされました。これからは、地区民一丸となって、町の代表たる営農団地を目指して、精進致す所存で御座います。



▲成人式 8月14日 サン・ローラ川口

祝成人式

はばたけ 青春

はた ち 二十歳大人の一步

若者たちは、そんな時代の流れのなかを立派に成長して二十一世紀へ向けて成人の第一歩を踏みだしたわけですね。式典では、成人を代表して丸山文子さんと中林弘明君の二人が、成人の誓いをのべました。

平成は創造の時代 力強く新しい 人生を

この日青柳町長は、式辞のなかで成人を祝福するとともに、「西倉遺跡」や「荒屋遺跡」という古い文化遺産をもつ川口を誇りに思っ、これからの人生を開拓するよう激励しました。

また、川口町のこれからのあるべき姿や二十一世紀へ向けての町づくりについてふれ、運動公園の再開発を進めて、野外学習のむら生涯学習のむら

原始古代むらをつくって、「滞在型家族旅行村」の建設を目指し、オープンしたファミリールーブル場やオートキャンプ場は連日の利用者も多く、今年には新たにクラブハウス、野外音楽堂、大きな芝生広場などの工事が始まっており、中山高原を核とした誘客とその他の活性化は順調に進んでいると話されました。さらに、昭和は進展と繁栄



▲「祝福」と「激励」を送る 青柳町長

の時代であったが、平成の時代は創造の時代と考えられ、二十一世紀の指導者となられる皆さんは、創造性豊かな活力ある人間に成長するよう新しい人生に挑戦してくださいと呼びかけました。

明日の川口町の 発展のために 努力続けたい

成人式に臨み、私達一人一人、心に期する思いは様々でありますが、これからは自分達の立場を自覚し、責任を持った行動をとれるようにしていきたいと思えます。しかし、その為に消極的になることなく、若者の利点である活気に



▲「誓いの言葉」を述べるお二人 中林弘明(川岸)さん、丸山文子(川口6)さん。

満ちた行動と広範囲に視野を広げることにより、社会生活、地域発展を推進していかねばならないものです。今時代は、激動の変革期だと感じています。今までの形式やこだわりなど、マンネリ化したものに対して人々はいやがさしています。これからは、今までにない発想や形式が社会にどんどん受け入れられる時です。こうした時代だからこそ、まだ何にも染っていない私達若者が中心になり、しっかりと真実を見つめながら動かなければいけないと考えます。まだ何も知らない世間知らずの私達ですが、それだからこそ何にも臆すること

なく行動できるのだと思うのです。

町では生涯学習というテーマで活動を進めています。若者も進んで参加出来るようなものなることを期待します。しかし、私達もただ町がしてくれるのを待つのではなく、進んで行動をしなければ

スタートライン



生越千晴さん(川口一)

「人に成る」と書いて「成人」。この二十歳を節目として、小人から大人へと脱皮し、そして「社会」という大きな世界へ飛び立つ号砲が、先日我々にも鳴るのが聞こえた気がする。

「成人式」を迎えてすぐに変わるものなどないと思う。この成人式が、社会という学舎への入学式みたいなものであって、我々はその中の「ピッカピカの一年生」なのだ。これから多くの事を学び取って

いけません。自分から参加してこそ、町に対する意識も高まります。

成人したとはいえず未熟者の私達ですが、町の人達の温かいご支援を受けながら、今後の社会として明日の川口町の発展のために、不断の努力を続けていきたいと思えます。

行く道りのスタート地点に立ったのと同じであり、一歩ずつ確実に自分のペースで学び取って自分を高めて行きたいと思う。

これから先、果てしない道のりを有意義なものにするため、くじけず、責任をもって歩んで行きたいと思う。今回成人式を迎えた八十四名に「乾杯」。

自分自身を 磨く



角張千秋さん(小高)

成人式も終わり、一つの節目である二十歳を迎えました。

今までは、両親に甘え、何も考えず、これといった目標も持たず、好き勝手なことをしていたような気がします。

しかしこれからは、大人の仲間入りという事で、周囲の目が厳しいものになるということを自分自身、自覚しなければならぬと思えます。

これからは、自分の行為に責任をもって、一つ一つ着実にこなして、成長していきたいと思えます。

そして、この二十年間をふり振り返りながら、これから、一人前の大人として認められるように自分自身を磨いていきたいと思えます。

自分の足で 成長を



関美保子さん(上河原)

今日ここに、数多くの仲間と共に成人式を迎えられた事を心からうれしく思います。晴れて「大人になりました」と言ってしまうました。

子供という殻の中で自分に甘えてきた私が今、その殻を破り子供から大人へ前進してゆこうとしています。

社会的にも厳しい目が自分に向けられた事を認識し、一つ一つの行動・発言に責任を持たねばならぬなりました。今すぐに立派な大人という訳にはいきませんが、一歩一歩自分の足で、着実に成長していきたいと思えます。

間違えたり、つまづいたりする事もあると思えますが、そんな時は「七転び八起き」の精神で乗り越えて、素敵な大人になりたいと思えます。

成人式を無事に 終えて今



星野利夫さん(木沢)

わっぱく終わって一番感じた事は、自分も年をとったなあ、と思えました。そこで今日を皮切りに、少々夜遊びを自粛しようと思

ました。もうそろそろ「人生」おちつく頃ですので、四年計画ぐらいで徐々にこの計画を実行していきたいと思えます。

さて、今までの自分の生き方を振り返ってみると、なにも目標、夢さえもなく、ただ、その日その日をなげなく過して来たように思えます。

これからはいくらなんでも今までのようなわけには……。これからは、社会にも一人の人間として見られるわけでもありませんし、自分の行動が即、自分の責任として跳ね返って来ます。それが世間というもので、それに立ち向うためには、やはり一つの目標・夢を持って「ピッカピカの大理石」のような自分「男」を磨きあげていこうと、新たに決意しました。



大いなる遺産

川口における旧石器時代の暮しづりが解明か？

調査の成果を 発表……

この調査は、七月二十日から八月十二日までの日程で、昨年と同様に東北大学名誉教授 芹沢長介氏と同大学考古学研究室須藤隆教授の指導で、研究生の学生ら十一人の手によって行われ、十一日には、調査の成果の概要が現地説明

「荒屋遺跡」住居跡を発見！



▲丸いのが土坑、直線のところは土層を見るために残した土

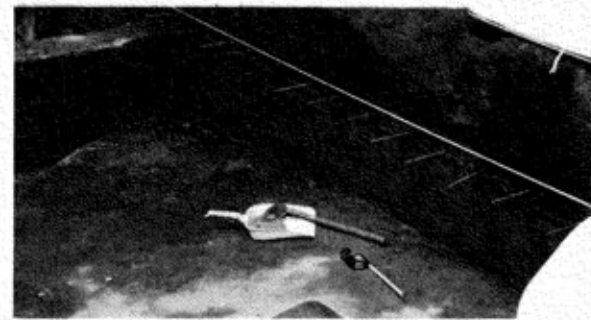


▲各種の土坑があちこちに

会という形で、報道関係者や一般参観人に発表されました。

昨年の調査では、たくさんの彫刻刀や細石刀等の石器類のほか、遺構（過去の人間が土中に残した様々な構造物）の一部が確認されています。今年はこの遺構の全体像を明らかにすることに主眼をおく調査となり、その結果新たな遺構がたくさん発見されました。発表によれば、①固い砂を深く掘った穴 ②長径3mの楕円形の穴に砂を敷き、その上で火を使った炉跡状のもの

③浅く掘りくぼみの穴に、彫刻刀が何点か入っていたもの
④堅穴状の構造で、中央部に炉をもったもの
などの形状の土坑や堅穴状遺構が、八メートル四方の面積の中に十三個も確認されたこと。また、これらの遺構がたがいに重複していることから、同じ場所を何回も利用していたと推定しています。

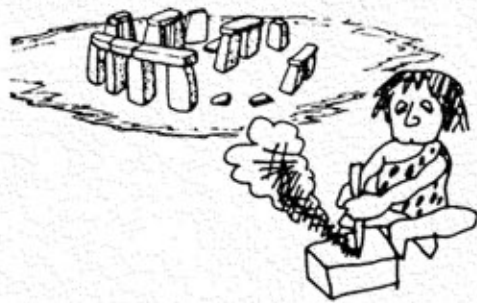


▲堅穴状遺構の約半分が確認された中央部分が炉あと

初めての発見 学術的にも貴重

このように様々な形状を持つ旧石器時代の遺構が折り重

なっているのは全国的に例がなく、また、ひんぱんに火を利用し続けた痕跡のある遺構は、この時代のものとしては初めての発見で、須藤教授は「学術的にも非常に貴重なもの。旧石器時代の人間が一つの場所に、何世代にもわたって定住していたことを示す証拠になる。」と評価しています。これら遺構のうち土坑は貯蔵庫なのかそれともお墓であったのか、そのなぞ解きに興味をもたれるところですが、さらに分析することによって川口における一万二千年以上も前の人の動きや暮らし、集団生活の様子が解明されるのもそう遠くはないと思います。



ふるさと越後の味を あなたに贈ります！！

「ふるさと宅配便」順調に

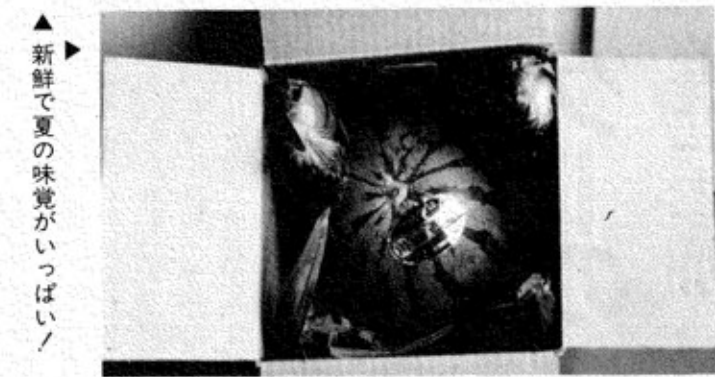
四季折々の、町特産品を都会の人たちに直送する、ふるさと便がスタートして二年目を迎えました。……「ふるさと便の届く日を心待ちにしています……。そんな便りも寄せられ、都会の人たちから喜ばれています。

八月九日、アンデスメロン やトウモロコシ、ジャガイモ、チマキなど、とりたて、つくりたての新鮮で、心のこもったふるさとの味をいっばいに八月便が届けられました。



▲末広荘を出発 八月九日

ふるさと便は、都会の人たちに心ふれあう「ふるさとの味」を届けようと昨年四月、東京川口会をはじめ、ふるさと友好都市「狛江市」や「練馬区」などの皆さんを会員に



▲新鮮で夏の味覚がいっぱい！

今年のメニュー等

◆入会期間別料金

- 4月20日まで 15,000円 (4回直送)
- 7月10日まで 13,000円 (3回直送)
- 10月20日まで 10,000円 (2回直送)
- 1月10日まで 5,000円 (1回直送)

◆特産品

- 5月便 アスパラ、山菜、みそ、鮎のごぶ巻など
- 8月便 メロン、ちまき、ジャガイモ、トウモロコシなど
- 12月便 コシヒカリ、鏡餅、笹だんご、わら細工、みそなぞ
- 2月便 アワもち、花びん(木沢焼)、地酒など

都会からの便り

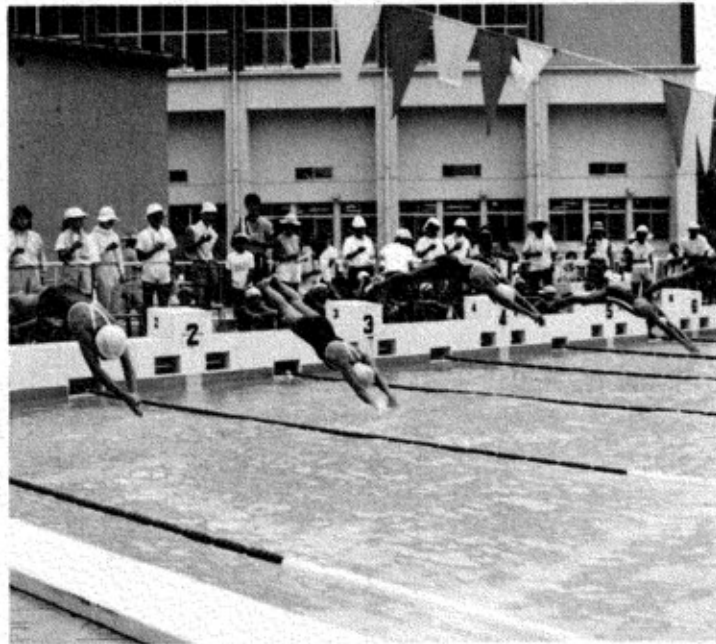
東京都 田無市 東川静夫さん

立秋とはおぼろげに秋の気配が感じられる頃です。八月十日は前夜祭で三丁介さんをして、第四回ふるさと便の便りをお届けしました。相変わらず新鮮なアンデスメロン、トウモロコシ、チマキ、ちまき、ジャガイモ、トウモロコシ、ジャガイモ、チマキなど、とりたて、つくりたての新鮮で、心のこもったふるさとの味をいっばいに八月便が届けられました。……「ふるさと便の届く日を心待ちにしています……。そんな便りも寄せられ、都会の人たちから喜ばれています。

神奈川県 綾瀬市 樋口千代野さん

昨秋は、おぼろげに秋の気配が感じられる頃です。八月十日は前夜祭で三丁介さんをして、第四回ふるさと便の便りをお届けしました。相変わらず新鮮なアンデスメロン、トウモロコシ、チマキ、ちまき、ジャガイモ、トウモロコシ、ジャガイモ、チマキなど、とりたて、つくりたての新鮮で、心のこもったふるさとの味をいっばいに八月便が届けられました。……「ふるさと便の届く日を心待ちにしています……。そんな便りも寄せられ、都会の人たちから喜ばれています。

スポーツの町宣言



▲「力泳」練習の成果を十分に発揮。川口小プールで

川口勢は、川口小学校を中心に多くの上位入賞をほたし、個人競技で四種目を、リレー競技は女子メドレーで一位を獲得、八種目で二位につけ特にリレーで善戦するなど、六年生は郡内の上位に位置する力をつけていました。郡大会の上位入賞者は次のとおり。

小学生の水泳大会

町内親善大会と郡大会は川口小を会場に

小学校では夏休み中に町と郡の水泳大会が開かれ、子どもたちはプールの中で水しぶきをあげながら、熱いたかかいにいどみました。

大会新記録が続出 個人で十二

リレーで六つ

町小学校体育連盟の主催で七月二十八日に川口小学校プールで行われ、町内各校の五、六年生二百人が七種目の競技に挑戦。

学校対抗リレーは、各学年男女の六レースとも川口小学校チームが一位となり、優勝

郡大会でも善戦健闘 個人四種目とメドレーで一位獲得

郡大会は、郡小学校体育連盟の主催で、八月九日に当町川口小学校プールを会場にして開催されました。

大会には郡内の十八か校から、標準記録を突破した五、六年生の選手五百人余りが参加、当町からは四か校が出場し、地元の意地をみせて健闘してくれました。

川口勢は、川口小学校を中心に多くの上位入賞をほたし、個人競技で四種目を、リレー競技は女子メドレーで一位を獲得、八種目で二位につけ特にリレーで善戦するなど、六年生は郡内の上位に位置する力をつけていました。郡大会の上位入賞者は次のとおり。

◆ 郡大会上位入賞者 (3位まで)

1位	6年男	100m背泳	大 潤 修 治	田 麦 山
	6年女	100m平泳	石 坂 聡 子	川 口
	"	100m背泳	小 宮 山 恵 美	"
	"	50mバタフライ	小 林 美 佐	"
	"	200mメドレーリレー	川 口 小 学 校	"
2位	6年男	100m自由型	金 沢 司	川 口
	"	100m背泳	山 田 義 明	"
	"	200m個人メドレー	"	"
	"	200m自由型リレー	川 口 小 学 校	"
	"	200mメドレーリレー	"	"
	6年女	50m自由型	佐 藤 渚	"
	"	200m自由型リレー	川 口 小 学 校	"
	5年男	50m平泳	前 沢 孝 一	泉 水
3位	6年男	50m自由型	大 潤 修 治	田 麦 山
	"	50m背泳	関 俊 也	川 口
	6年女	100m自由型	小 宮 山 恵 美	"
	5年男	100m背泳	河 上 哲 平	"
	5年女	100m背泳	真 島 薫	"
	"	50m背泳	喜 多 村 千 晴	"

◆ 町内大会新記録樹立者

- 個人** 長楽佳子 小林美佐(2回) 樋口 忍(2回)
金沢 司 関 耕二(2回) 石坂聡子 真島 薫 山田義明(以上川口小)
大潤修治(田麦山小)
- リレー** ・メドレー 女子 川口小A
(小宮山恵美、石坂聡子、小林美佐、佐藤渚)
・自由型 5年女 川口小A
(樋口忍、丸山祥子、関知美、長楽佳子)
・自由型 5年女 田麦山小A
(佐藤千春、山崎理恵、星野菜々子、桜井亜由美)
・自由型 5年男 川口小A
(小宮山昌忠、関一義、広井泰明、星野貴之)
・自由型 6年女 川口小A
(小宮山恵美、佐藤渚、石坂聡子、小林美佐)
・自由型 6年男 川口小A
(金沢司、関耕二、関俊也、関真志)



少年リーダーのつどい

野外研修に参加

川口小学校の子ども会代表が、夏と自然と友だちとをテーマにした少年団体リーダーのつどいに参加し、県内各地の子どもたちとの交歓活動で新しい体験を重ねました。

ねらいは
連帯と野外活動技術

このつどいは、県教育委員会が主催したもので、子ども会など少年団体の小学生を対象に、交換活動を通じて理解と連帯を深めることと、野外活動の初歩的な知識や技術の研修をねらいとして、北蒲中条町の県少年自然の家で七月二十七日から二泊三日の日程で行われたもの。

つどいには、県内の小学校五、六年生百八十人。当町からは川口小学校若竹児童会の五年生五人と引率指導の先生が参加しました。



▲青い海 みんなで地引網を引く



▲キャンプファイヤー 女神には川口の子も選ばれた



▲野外炊飯のはしと竹ぐしづくり

参加した子どもたちは野外炊飯、キャンプファイヤー、テント泊、海辺での地引き網などの初めての体験や共同生活のもよみを、楽しそうに報告してくれました。

町教育委員会では、こうした研修には積極的に参加させる考えで、このあと北海道で

の中学生海のつどいにも参加が決まっています。今回のつどい参加者は次のとおり。

川口小学校若竹児童会
覚張浩亨 服部一馬
黒島美和 星野和恵
星野美弥子
引率 松本美和子先生

初心者のパソコン講座

■内容
初めてパーソナルコンピュータを使用する人を対象に、基本操作、プログラムの作成方法等の実践

■場所
小千谷西高校 電子科

■日時
十月九日から月末まで
毎週月、水、金曜日の三回
夜六時半から九時半

■定員 十八歳以上 四十名

■費用
テキスト代等 二千元

■応募
郵便ハガキに住所・郵便番号・氏名・性別・年令・職業・電話番号を記入

■申込先
〒九四七
小千谷市内三三三十一
県立小千谷西高等学校
パソコン講座係宛
電話 八二四三三五

■お切り 九月二十五日
この講座は、県教育委員会社会教育課の高校開放講座の一つです。

川口町教育委員会